

# 大麦特報 (第1号)

令和3年9月  
なのはな農業協同組合  
富山農林振興センター

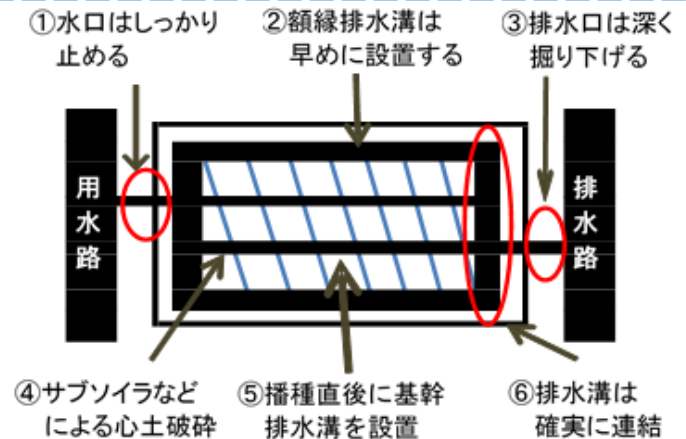
今年8月中旬以降、平年に比べて雨が多く、ほ場の乾きが遅れています。  
**早めの確実な排水対策を徹底するとともに、土づくりや10月上旬までの適期播種**  
等により、適正な苗立数を確保し、高品質大麦の生産を目指しましょう！

## 1 排水対策の徹底 ~ ほ場の乾きを促すため、稲刈り後、速やかに額縁排水溝を設置！ ~

大麦は生育期間を通して湿害に弱いため、排水対策や砕土率の良し悪しが、その後の生育に大きく影響します。特に今年8~9月の降水量が多く、軟らかいほ場も目立ちます。稲刈り直後から排水対策を確実に実施しましょう。

### 【排水対策のポイント】

- ①水口はしっかり止める。
- ②額縁排水溝は、幅30cm、深さ20cm以上のしっかりとした溝に仕上げる。
- ③溝に水が溜まらないよう、排水口を低く掘り下げるとともに、排水溝と確実に連結する。
- ④透水性の向上のため、心土破碎(深さ30~40cm)を実施する。
- ⑤播種直後に基幹排水溝を設置し、確実に額縁排水溝とつなげる。



## 2 土づくり・基肥 ~ 土づくりの実践や的確な基肥施用で適正な生育量に誘導！ ~

酸性土壌では大麦が生育不良となるため、**pH6.0以上**を目標に、確実に石灰質資材を施用しましょう。また、積極的に堆肥等有機物を施用しましょう。

表1 土づくり資材の目安

資材名	施用量(10a当たり)
苦土石灰	100~140kg
発酵鶏糞ミックス	60kg

石灰質資材の散布で pH6.0~6.5 を確保！

表2 基肥の目安

区分	基肥名	施用量(10a当たり)
肥効調節型基肥栽培	Jコート大麦48号	45kg
分施栽培	燐加安15号	40kg

今年から肥料が変わります！  
LP大麦48号→Jコート大麦48号

## 3 適正な播種 ~ 播種は9月末から計画的に行い、遅くとも10月中旬までに完了！ ~

### (1) 種子消毒

- 雲形病等の発生を防ぐため、種子消毒を必ず実施しましょう。  
〔「ベンレートT水和剤 20」を乾燥種子重量の0.5%湿粉衣(乾燥種子10kg当たり200mlの水を加え、薬剤50gを均一に混ぜる)〕

### (2) 播種作業

- 播種は必ずほ場が乾いた状態で行い、耕起・播種・作溝までの一連の作業は1日で完了させましょう。
- トラクターの速度を低速にし、できるだけ細かく砕土しましょう。
- 播種時期・播種方法に応じた播種量とし、目標の苗立数を確保しましょう(表3)。
- ドリル播きの場合、湿害を避けて出芽・苗立ちを揃えるため、播種深度が3cm程度になるよう設定しましょう。

表3 目標苗立ち数と播種量の目安

播種期	目標苗立ち数(本/㎡)	播種量の目安(10a当たり)	
		ドリル播き	表面散播
9月26~30日	140	6.0kg	6.5kg
10月上旬	150	6.5kg	7.0kg
10月中旬	200	8.5kg	9.0kg

播種が遅くなる場合は、播種量を増やしましょう！

大豆の収穫作業等との競合が予想される場合は、大麦の播種が遅れないよう事前に調整しましょう。

## 4 雑草防除 ~ 除草剤の的確な使用により、生育量を確保！ ~

【除草剤の使用時期と量の目安】 ※土壌表面散布除草剤はドリル播き限定です！

土壌表面散布除草剤	適用草種	使用時期	使用量(10a当たり)	使用上の注意
トレファノサイド粒剤2.5	1年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	播種後出芽前	4~5kg	・播種深度が浅く、種子の露出が多い場合は、使用を避ける。 ・散布直後に多量の降雨が予想される場合は散布を控える。
トレファノサイド乳剤		播種後出芽前	200~300ml	
キックボクサー細粒剤F	1年生雑草	播種後出芽前(砂土を除く)	3~4kg	
ボクサー	1年生雑草	播種後~麦2葉期	400~500ml	
リベレーターフロアブル	1年生雑草	播種後~麦3葉期(砂土を除く)	60~80ml	

雑草茎葉散布除草剤	適用草種	使用時期	使用量(10a当たり)
アクチノールB乳剤	畑地1年生広葉雑草(カラスノエンドウ等)	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)(カラスノエンドウは発生後~3葉期まで)	100~200ml



~秋の農作業安全運動実施中(10月20日まで)~